



平成 27 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ラウンドワン
 代表者名 代表取締役社長 杉野 公彦
 (コード: 4680 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 佐々江 慎二
 TEL 072-224-5115 (代表)

税制改正等に伴う業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正し、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 連結

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,500	8,800	8,000	4,500	47.23
今回修正予想(B)	83,300	6,050	5,700	△5,300	△55.63
増 減 額(B-A)	△2,200	△2,750	△2,300	※△9,800	
増 減 率(%)	△2.6	△31.3	△28.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	84,272	10,088	7,818	△19,681	△206.56

※当期純利益9,800百万円減少の要因

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	要因
	百万円	百万円	百万円	
経常利益	8,000	5,700	△2,300	売上の減少等
特別損益(減損損失)	△800	△4,700	△3,900	減損損失の発生等
特別損益(その他)	△400	△600	△200	固定資産除却損の発生等
法人税等	2,300	5,700	△3,400	税制改正の影響等
計			△9,800	

税金等調整前当期純利益は前回発表予想6,800百万円から今回発表予想400百万円となります。

(参考)

(2) 個別

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,700	8,050	4,550	47.76
今回修正予想(B)	81,900	5,900	△5,100	△53.53
増 減 額(B-A)	△1,800	△2,150	△9,650	
増 減 率(%)	△2.2	△26.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	82,998	7,831	△19,667	△206.42

2. 業績予想の修正理由

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成27年3月31日に公布されたことに伴う税率引き下げ、及び欠損金の繰越控除限度額縮小の影響等により、繰延税金資産の取り崩しが発生することから前回発表予想に比べて法人税等が3,400百万円増加となる見込みであります。

また、12月以降、料金プランのプラス効果が一巡したことによる反動で売上高が減少したことや、アミューズメントの景品仕入れの増加、及び省エネ関連の消耗品購入に伴うコスト増等があったため、前回発表予想に比べて経常利益が2,300百万円減少する見込みであります。

既存店舗の売上減少を鑑み、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき全店舗の収益を保守的に見積もった結果、減損損失が発生すること等により特別損失が前回発表予想に比べて4,100百万円増加となる見込みであります。

以上の結果、今回修正予想は、売上高83,300百万円、営業利益6,050百万円、経常利益5,700百万円、特別損益（△は損失）△5,300百万円、税金等調整前当期純利益400百万円の見込みであります。税制改正等の影響により法人税等が増加し、当期純損失は5,300百万円となる見込みであります。

なお、減損損失及び繰延税金資産の取り崩しは損益に影響を与えますが、実際のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

3. 特別損失の内容

直近の既存店舗の売上減少を鑑み、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき全店舗の収益を保守的に見積もった結果、減損損失を新たに4,400百万円計上いたします（第3四半期連結累計期間までに303百万円を計上済み）。業績に与える影響については本資料に織り込み済みであります。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。また、特別損失の計上については本資料開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続前となっております。

以 上